

*We are the brilliant hospital personnel
who work for
the brilliant private hospital group.*



健育会グループの看護師として

健育会グループ



この冊子は、健育会グループとして、

看護師に求めることを

伝えるためにまとめたものです。

健育会のグループの看護師として働く際に

この冊子の内容を常に心に留めてください。

Index

看護とは	2
看護としての観察とは	4
看護師のもつ責任とは	5
健育会グループの経営理念	6
健育会グループの看護師に求めること	
使命感を育むこと	7
患者が求めている安心感を提供すること	8
チーム医療の中でのコーディネーターになること	9
健育会グループのMVV	10
私たちが大切にすべきこと	12

看護とは

「自然（自然治癒力）が患者に働きかけるに
最も良い状態に患者を置くことである」

What nursing has to do, ... is to put the patient in the best condition for nature to act upon him.

Florence Nightingale

看護は、体が健康を妨げているものを除去しようとして、バランスを取ろうとする自然の働き（回復過程）の中で、治癒力が働きやすいように、最も望ましい条件に（患者の）生命をおき、暮らしを整えていくことです。



Florence Nightingale

フローレンス・ナイチンゲール

1820-1910

この最も望ましい条件を作り出すには、患者の生命力の消耗が最小に整えられる必要があります。

それは、

「新鮮な空気、

陽光、

暖かさ、

清潔さ、

静かさなどを適切に整え、これらを活かして用いること、

また食事内容を適切に選択し適切に与えること」

It ought to signify the proper use of fresh air, light, warmth, cleanliness, quiet, and the proper selection and administration of diet-all at the least expense of vital power to the patient.

Florence Nightingale

これらによって、はじめて可能となるのです。そして、その時々
の患者の持てる力を最大に引き出すように工夫することが
看護なのです。

看護としての観察とは

「患者の顔に現われるあらゆる変化、姿勢や態度のあらゆる変化、声の変化のすべてについて、その意味を理解すべきなのである…

患者が何を感じているかを…

言わせることなく…

読みとること」

Now a nurse ought to understand in the same way every change of her patient's face, every change of his attitude, every change of his voice, ... without causing him the exertion of saying what he feels.

Florence Nightingale

看護の中で最も基本であり、かつ重要なことは「観察」です。ナイチンゲールは、「もしあなたが観察の習慣を身につけられないのであれば、…どんなに親切で熱心であるにしても、看護師になることを諦めたほうがよい」とまで言っています。

「(患者が) 真実を述べるということは、…想像しているよりもはるかに難しい」ものなのです。この患者にどのようなケアをすることが適切な看護になるかを見抜く能力、変化の意味を理解できる知識が看護師として不可欠な能力であり、必要な資質なのです。観察が看護の質を決定するとも言えるでしょう。

看護師のもつ責任とは

「たんに自分自身が適切な処置を行なうだけでなく、ほかの誰もがそうするように手筈を整える」

To be “in charge” is certainly not only to carry out the proper measures yourself but to see that every one else does so too; to see that no one either wilfully or ignorantly thwarts or prevents such measures.

Florence Nightingale

看護師が担う責任には、上記のことまで含まれます。

その看護師が居ようが居まいが、患者に必要なことが平常通りに行われ、患者が困るようなことがないこと。

そして、発生しうる不都合な事態に対して、あらかじめどのような対策が必要かまで整えること、それらが看護師がもつ責任です。

健育会グループの経営理念

(理事長が職員に約束すること)



全ての職員が、一人ひとりの人生の夢と仕事のやりがい
をもちながら、医療介護に携わるものとしての**使命感**を
育むことができる職場環境を提供します。



健育会グループの看護師に求めること

使命感を育むこと

「使命感を持たない看護師は、自分の受持ち患者
の呼び鈴の音と別の患者のそれとを聞き分けられ
るようになど絶対にならないであろう」

A nurse who has not such a “calling,” will never be able to
learn the sound of her patient’s bell from that of others.

Florence Nightingale

健育会では、“医療介護に携わる者としての使命感”が大切
であると考えています。使命感とはナイチンゲールが言うように、
「それは何が正しく、何が最善（最適）であるかという、あなた自身
が持っている高い理念を達成させるために自分の仕事をする
こと」です。使命感を持つ看護師は、自分自身の理念を満足
（追求）させることと、患者に対する関心に支えられて仕事を
します。指示されたから、業務だからそれを行うのではなく、自分
自身の理念を満足させるために行うので、自然と**あらゆる
五感を働かせる**ものです。だから仕事に**熱中**しているのです。

使命感をもつ看護師は、どんな時でも学びと考えることができ
でしょう。生涯学び続けることを自分の理念や使命とし、また
困難なことに遭遇しても学びと考えられるのです。

使命感は、後に述べる三重の関心によって培われると考えて
います。



患者が求めている 安心感を提供すること

健育会では、患者さんが看護師に求めていることは“安心感”だと考えています。

これは、看護師一人ひとりの「**三重の関心**: Threefold interest (Florence Nightingale)」の上で成り立ちます。



この3つが大きく、きれいな三角形を描くことが重要です。そしてこの3つの積み重なる成果によって個人が成長し、使命感が培われていくと考えます。



チーム医療の中での コーディネーターになること

私たちが目指す質の高い医療を実現するために、看護師は各職種のプロフェッショナルたちを結ぶ役割を担っています。

看護師ほど、医療介護の中で広くさまざまな領域を学び、横断できる職種はありません。それぞれの専門家が完全一体となって機能するために、必要な情報を自らに集約し、また各々に届け、彼らの“持っている力を最大に発揮できるようにコーディネートする”のです。

このようにして、プロフェッショナルたちを結び、患者を最良の状態に整えていくことがチーム医療の中での看護師の役割です。

【引用・参考文献】

薄井垣子(編) 1974, 原文 看護覚え書 原文看護学選集1, 現代社

湯横ます(監) 1974, ナイチンゲール著作集 第二巻, 現代社

湯横ます他(訂) 2011, 看護覚え書 Florence Nightingale, Notes on Nursing: what it is, and what it is not, 第7版, 現代社

McDonald, L.(ed.) 2004, *Florence Nightingale on Public Health Care (Collected work of Florence Nightingale)*, Wilfrid Laurier University Press.



健育会グループのMVV

Mission

私たちの組織・個人が
何のために
存在するのか？

光り輝く民間病院グループ

健育会グループは、「光り輝く民間病院グループ」として、国公立の病院とは違った角度で、民間にできること、民間でしかできないことを追求し、一歩先に進んだ質の高い医療・介護サービスの実現を目指します。

Vision

私たちのなすべきこと・
目指す姿

クライアントの心を 豊かにする病院グループ

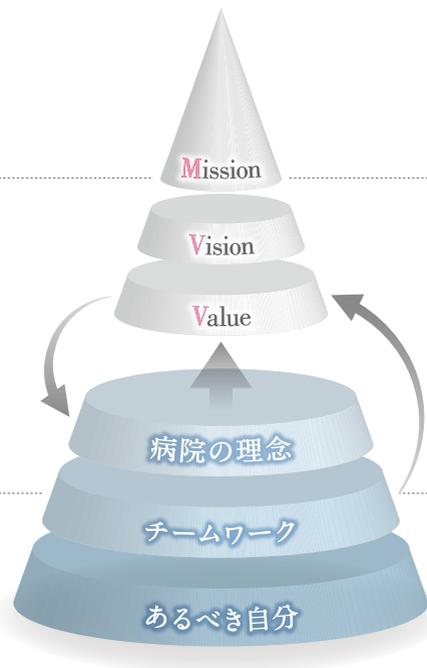
病院・施設は単に医療・介護を提供する場ではなく、関わる全ての方々（クライアント）に対し、共に心が豊かになるようなサービスを提供する場となることを考え、その実現を目指しています。

Value

クライアントに
提供すべき価値

7つのクライアント（顧客）と グループが提供するバリュー

1. 患者さんには **質の高いサービス** を
2. ご家族には **安心** を
3. 地域には **貢献** を
4. 紹介元には **満足** を
5. 取引先には **納得** を
6. 職員には **やりがい** を
7. 株主には **名誉** を



健育会グループのMVVと病院理念

私たちが大切にすべきこと

人間の尊厳は平等です。

Human dignity is equal.

人間はそれぞれ生まれながらにして
独自の個性、感性、能力を持っており、
個人としてかけがえのない存在です。
そのかけがえのない存在そのものが
“尊厳”なのです。

私たちは、子供でも、高齢者でも、
認知症やどのような障害があろうとなかろうと、
ターミナルであろうと、
その人がその人らしくいられるように心がけています。

患者さん一人ひとりの“尊厳は平等”であり、
私たちが最も大切にしていることです。



医療法人社団 健育会グループ

理事長 竹川 節男